

■体験入学に120人参加
中学生へ葛巻の魅力伝える



①商業科目の体験授業の様子②高校生と中学生がトーク③総探ポスターの説明を聞く中学生④生徒会執行部のプレゼン⑤中学生を体験場所まで誘導する高校生



葛巻高校の体験入学が7月2日に開催され、町内3中学校の3年生のほか町外からの中学生合わせて約120人が参加しました。

はじめに生徒会執行部が年間行事や高校の特色を紹介。授業見学・体験では、高校生が案内板を持って誘導したり、高校生と中学生が直接話せるブースでは、中学生の質問に高校生が丁寧に答えるなど、両者が積極的にコミュニケーションを取る姿が見られました。また学習塾や部活動、総探の取り組みの紹介などもあり、高校生は葛巻高校での学びや生活などの魅力を伝えようと奔走していました。

CLASSMATCH

毎年恒例のクラス対抗「クラスマッチ」が6月25日と26日の2日間、総合運動公園多目的グラウンドと葛巻体育館を会場に行われました。令和7年度は誰もが参加しやすい競技としてニュースポーツ「ボッチャ」や個人種目にeスポーツが追加され、さらに熱い戦いが繰り広げられていました。クラスの仲間と声をかけ合い、全力で競技に臨んだ生徒たちは達成感に満ち、笑顔が弾けていました。



■岩手県知事と意見交換 山村留学生在自身の取り組みを紹介



達増知事と意見を交わす山村留学生

7月15日、葛巻高校で山村留学生の3年生平石真唯さん、西城妃乃さん、2年生の坂本貫奈さん、青嶋帆乃海さんが達増拓也岩手県知事との意見交換会に参加しました。

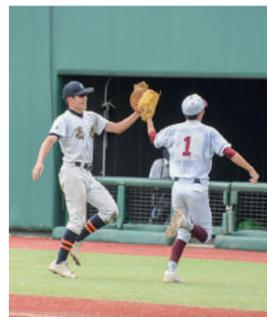
4人は葛巻高校への志望理由のほか、総合的な探究の時間の活動や消防団ラッパ隊への参加の経験など、学校活動や町での体験などを紹介。達増知事は頷きながら、それぞれの取り組みに関心を示し「人口減少が全国的に課題になっているが、みなさん一人一人の取り組みを情報発信することで、移住者が増えるかもしれない」と生徒らの活動を賞賛し、今後に期待を寄せていました。

連合チーム 見せた 結束力



大野・葛巻・伊保内連合
主将 有坂昌剛（3年）

7月9日、開会式を迎えた第107回全国高等学校野球選手権岩手大会で大野・葛巻・伊保内連合主将の有坂昌剛さん（葛巻高校3年）が選手宣誓を務めました。



葛巻高校は大野高校と伊保内高校との連合チームで出場。有坂さんは「たとえ出身地が違っても、ユニホームが違っても、野球に対する思いは変わらない。勝ちたい気持ちは単独チームにも負けない」と連合チームで大会に出場できること、野球ができることへの喜びと感謝を込め、力強く宣誓しました。

10日、平館高校との初戦は2対0で勝利。14日の2回戦は遠野緑峰・江南義塾盛岡連合との試合を3対2で制しました。18日の3回戦は久慈高校に0対19で破れたものの、葛巻高校として夏の大会では平成13年以来24年ぶりの16強入りを果たしました。

共に汗を流し戦い抜いた3校の選手たちは、学校の垣根を越えた強い結束力を私たちに見せてくれました。